

# 祝

## 神崎市・ボークール市 友好姉妹都市提携20周年 アンドレ・ジャッピー氏救出80周年 記念式典開催

20ème anniversaire du jumelage Kanzaki-Beaucourt, 80ème anniversaire du sauvetage d'André Japy

神崎市・ボークール市友好姉妹都市提携から20周年と、旧脊振村住民によるフランス・ボークール出身の冒険飛行家アンドレ・ジャッピー氏の飛行機墜落事故救出から80周年を記念して、10月22日に脊振勤労者体育館で記念式典が開催されました。ボークール市代表团、ジャッピー家親族、コードロン・シムーン機関係者等が神崎市を訪れ、記念式典のほか、救出地訪問、住民交流、学校訪問、市内視察などが行われました。

両市の友好姉妹都市関係は平成8年、旧脊振村時代に始まったもので、神崎市発足後、平成26年に続き2度目となる代表団の訪問は、様々な交流を通して両市の新たな友好関係を築く好機となりました。



▲市役所前の表示板除幕式で握手を交わす松本市長とペラン市長

◎問い合わせ 企画課 企画係 ☎37-0102

### 【記念式典】

友好姉妹都市提携20周年とジャッピー氏救出80周年を記念した式典を開催。松本市長が「両市は遠く離れているが、今後も互いに交流の輪を広げ、両市の絆をこれまで以上に強く、確かなものに発展させたい」と歓迎。

神崎市から日ノ隈窯の陶額の記念品と馬場憲治さん（神埼町尾崎西分）から42年かけて執筆した書籍「脊振山の赤い翼」が、ボークール市とジャッピー家に贈呈されました。握手を交わした両市長は、今後の友好関係の継続と発展を約束しました。

また、歓迎会ではボークール市から神崎市へ「アンドレ・ジャッピー氏の出生証明書の写し」や「ボークール市旗」などが贈呈されました。



◀ボークール市から贈呈された市旗



ペラン市長は、ボークール市を代表して「両市の友好関係はしばらく休眠状態にあったが、今回神崎市に来て20年前に結ばれた友好姉妹都市関係を改めて確認することができた。両市・両国の友好関係は、若者たち・青少年の交流にかかっており、次の世代による姉妹都市交流への参加や両市の教育における交流がとても大切だと考えている」と述べられました。

### 【学校訪問・文化交流】



▲脊振小学校での給食交流

自ら浴衣の色や柄を選び、着付け体験をされた女性代表団



▲救出劇に出演した脊振中学校の生徒と代表団



代表団は脊振中学校の文化発表会に参加し、念願の「ジャッピー救出劇」を鑑賞。また、脊振小学校では記念セレモニーが開催され、全校児童による歌やダンスなどで代表団をもてなしました。児童らは、万華鏡や扇子など趣向を凝らした手作りの作品をペラン市長にボークール市の小学生に届けてもらうよう託しました。

神崎市中央公民館での住民交流会では、千代田町の伝統芸能「高志狂言」を鑑賞。救出時の状況を語り継ぐ脊振町出身者を交えた座談会、浴衣の着付けやコーラスなどが披露されました。代表団は交流会をとおして、楽しんで日本文化の体験をされていました。